

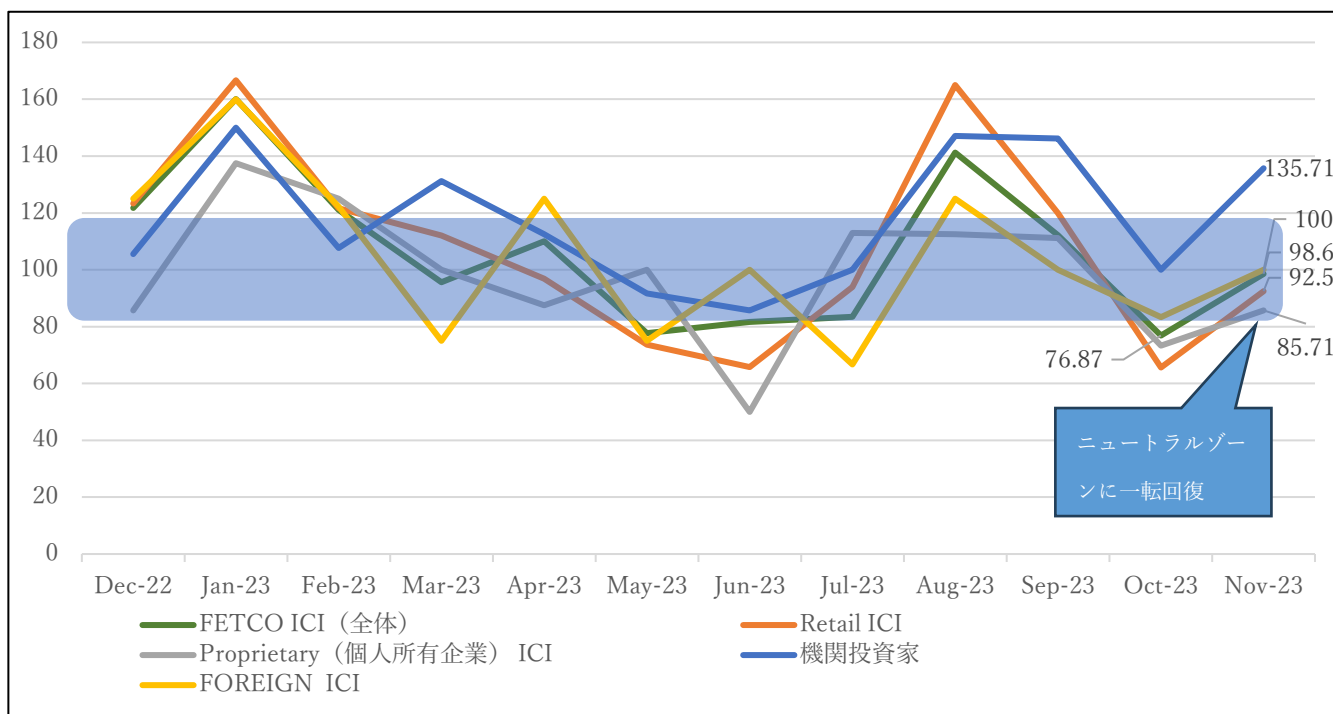
タイ経済指標斜め読み

(2023年12月版)

ビジネスサポート部
加藤義人
kato@mat.co.th

1. 【調査：投資家指数】

タイ資本市場連合会（FETCO）は11月、3か月後（2024年2月）の景気を予想する投資家信頼感指数（ICI）を発表した。



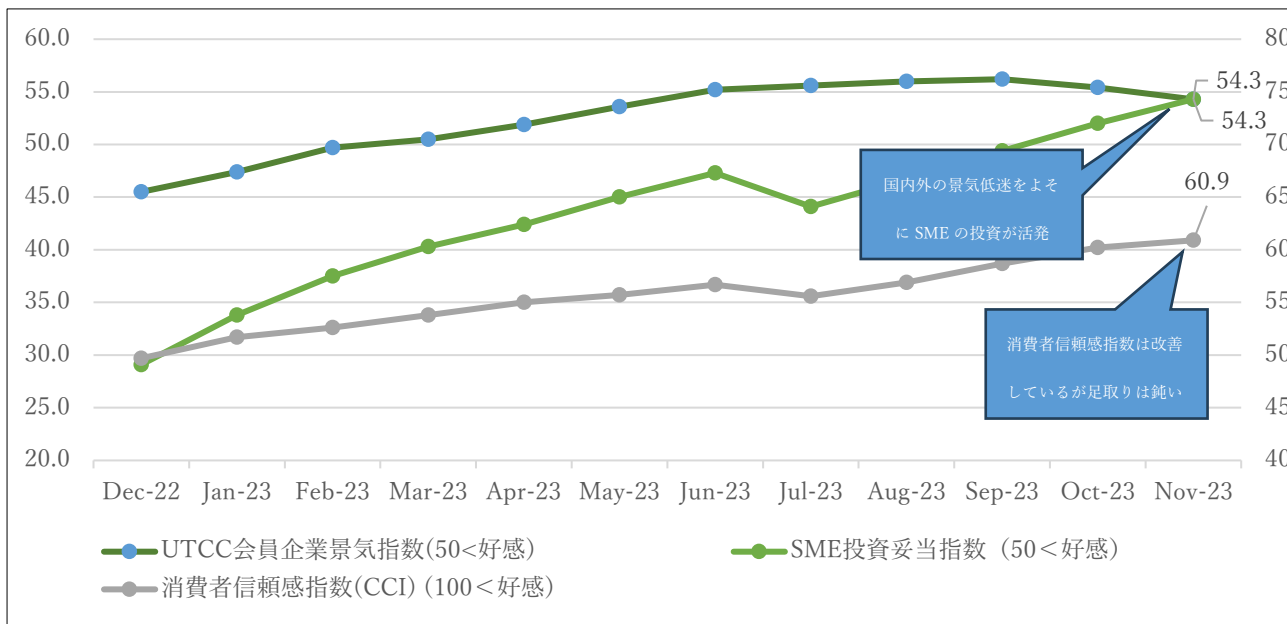
FETCO ICI 評価基準 非常に好感(160 - 200)、好感(120 - 159)、Neutral(80 - 119)、弱気(40 - 79)、非常に弱気(0 - 39)

来年2月のFETCO指数（全体）は98.6となり、前月の76.9から22ポイント上昇し、弱気ゾーンからニュートラルゾーンに返り咲いた。最も高い値を示したのは、機関投資家で135.7となりV字回復となった。要因として、タイ政府の景気刺激策や金利の安定、投資資金の流入などがある。一方、不安材料として、国内経済の後退、ウクライナ侵攻、イスラエルの軍事衝突、中国経済の低迷などが挙げられている。

出所：<https://www.fetco.or.th>

2. 【調査：景況感指数】

タイ商工会議所大学（UTCC）は、11月の景気指数（企業景気、消費者信頼感、SME投資妥当）を発表した。

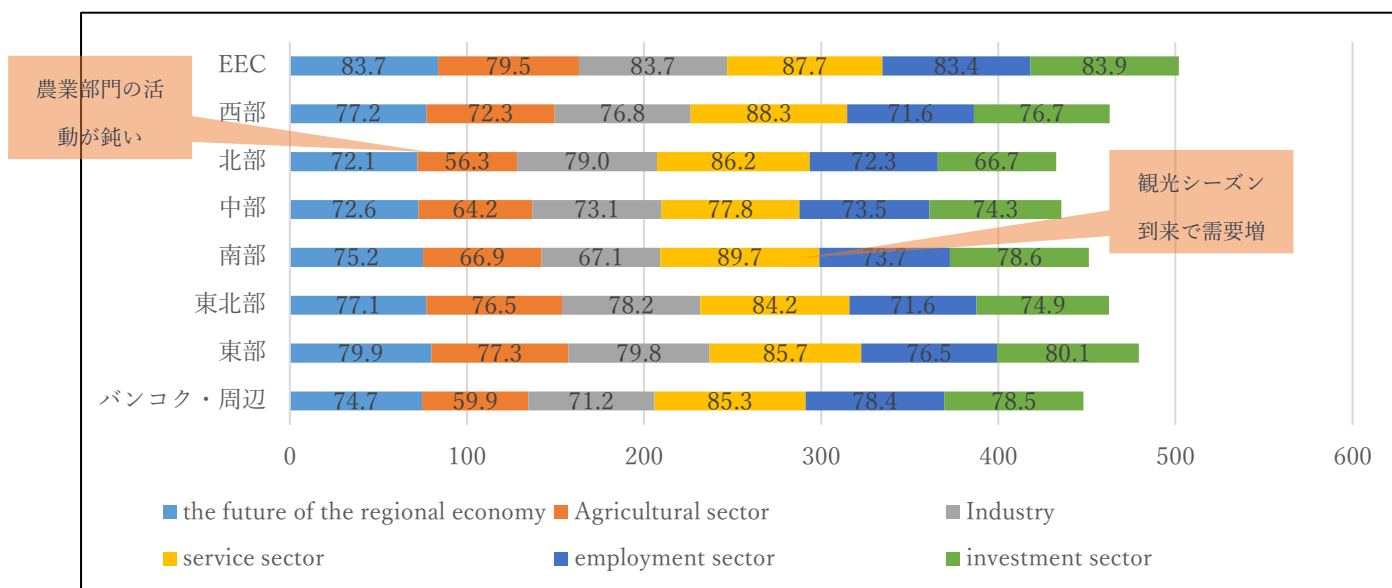


11月のUTCC会員企業景気指数は54.3、SME投資妥当指数は54.3、消費者信頼感指数は60.9となった。SMEと消費者信頼感指数は4か月連続で上昇中だが、企業景気指数は前月から下降線となっている。要因として、Q3のGDPが予測値を下回ったことや、世界経済の低迷、ウクライナ侵攻、ガザ地区の問題など解決の糸口が見えない状況への嫌気などが挙げられている。

出所：<https://www.utcc.ac.th>

3. 【調査：地域経済指数】

タイ財務省財政局は、11月の地域経済指数（Thailand Regional Economic Sentiment Index: RSI）を発表した。



RSI指数は0~100までを基準とし、「50：前月と変わらない」、「>50：前月から良くなった」、「<50：前月から悪くなった」となる。

11月のRSIは、EEC（東部経済回廊）がトップとなり、東部、西部と続いた。最下位は北部となった。低い指数を示したセクターは農業となっており、バンコク周辺、北部や中部、南部は、エルニーニョ現象の洪水被害や国内需要減の影響を受けているもよう。とはいえ、全ての地域で50の指数を大きく超えていることもあり、タイ経済は堅調に推移している。

出所：<https://www.fpo.go.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2023 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。